



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月10日

上場会社名 三相電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6518 URL <https://www.sanso-elec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡本 富男

TEL 079-266-1200

定時株主総会開催予定日 2022年6月23日

配当支払開始予定日

2022年6月6日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 17,098 | 32.3 | 806 | 109.4 | 939 | 60.9 | 884 | 119.8 |
| 2021年3月期 | 12,926 | 5.8 | 385 | 56.9 | 583 | 106.5 | 402 | 132.7 |

(注) 包括利益 2022年3月期 1,096百万円 (80.0%) 2021年3月期 608百万円 (%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 195.82 | | 9.0 | 5.6 | 4.7 |
| 2021年3月期 | 89.41 | | 4.4 | 3.7 | 3.0 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 17,679 | 10,369 | 58.6 | 2,293.65 |
| 2021年3月期 | 15,749 | 9,356 | 59.4 | 2,076.83 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 10,369百万円 2021年3月期 9,356百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 570 | 619 | 409 | 2,534 |
| 2021年3月期 | 1,239 | 244 | 573 | 2,922 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年3月期 | | 0.00 | | 22.00 | 22.00 | 99 | 24.6 | 1.1 |
| 2022年3月期 | | 0.00 | | 25.00 | 25.00 | 113 | 12.8 | 1.1 |
| 2023年3月期(予想) | | 0.00 | | 25.00 | 25.00 | | 15.5 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,400 | 6.7 | 400 | 0.8 | 420 | 9.4 | 300 | 40.6 | 66.36 |
| 通期 | 17,200 | 0.6 | 970 | 20.3 | 1,020 | 8.6 | 730 | 17.5 | 161.48 |

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期 | 4,621,900 株 | 2021年3月期 | 4,606,100 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 101,147 株 | 2021年3月期 | 101,087 株 |
| 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 4,515,928 株 | 2021年3月期 | 4,499,998 株 |

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 14,003 | 24.9 | 637 | 46.2 | 759 | 22.4 | 866 | 80.8 |
| 2021年3月期 | 11,214 | 6.0 | 435 | 27.6 | 620 | 56.2 | 479 | 51.2 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 191.94 | |
| 2021年3月期 | 106.52 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2022年3月期 | 15,246 | | 9,123 | | 59.8 | | 2,018.13 | |
| 2021年3月期 | 13,606 | | 8,299 | | 61.0 | | 1,842.36 | |

(参考) 自己資本 2022年3月期 9,123百万円 2021年3月期 8,299百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (追加情報) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |
| 4. その他 | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資や企業収益には持ち直しの兆しが見られるものの、2021年末からの新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染急拡大にともない、まん延防止等重点措置の再発出による行動制限が個人消費の下押し圧力となり、景況感は悪化してまいりました。また、ロシアのウクライナ侵攻にともなう資源価格の更なる高騰や安定調達への懸念は高まり、先行き不透明感の強い状況が続いております。

当社グループにおきましては、世界的な半導体供給不足の影響を受け、半導体製造装置は高水準の設備投資が続く、当社製品である半導体製造装置用ポンプの受注も引き続き堅調に推移いたしました。

また、工作機械業界の受注は内需・外需ともに増加しており、産業機械用モータでも海外経済の回復にともなう設備輸出の増加と、製造業の人手不足を背景とする省力化投資に加え、生産性向上につながる設備投資意欲が根強く、工作機械業界からのモータ受注も堅調に推移いたしました。

中国経済は、欧米やアジア向け輸出の増加から好調を維持したものの、電力不足による供給制限やゼロコロナ政策を背景に、経済成長率の下振れリスクは高まりました。

そうした中、政府の経済対策を受け民間企業の設備投資意欲は強く、経済活動は引き続き拡大基調が続いており、当社製品の空調用モータの受注も堅調に推移いたしました。

一方、部材の需給ひっ迫や資源価格の高値推移が続き、材料コストが上昇する中、部材の安定調達に努めるとともに、生産拠点の再編を図り設備稼働率と労働生産性を高め、更に間接費用の削減を進めるなど利益確保に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は170億98百万円（前期比132.3%）となりました。

営業利益は8億6百万円（前期比209.4%）、経常利益は9億39百万円（前期比160.9%）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は8億84百万円（前期比219.8%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べ19億29百万円増加し、176億79百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比べ18億82百万円増加し、111億64百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が11億51百万円、電子記録債権が5億41百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比べ47百万円増加し、65億15百万円となりました。これは主に土地が1億51百万円減少したものの、投資有価証券が2億9百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ9億17百万円増加し、73億10百万円となりました。これは主に長期借入金が1億34百万円減少したものの、電子記録債務が6億8百万円、支払手形及び買掛金が3億28百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ10億12百万円増加し、103億69百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億85百万円、為替換算調整勘定が2億3百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、25億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億88百万円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億70百万円（前年同期は12億39百万円の収入）となりました。これは主に15億73百万円の売上債権の増加、4億69百万円の棚卸資産の増加等による減少要因が、10億56百万円の税金等調整前当期純利益の計上、8億69百万円の仕入債務の増加、7億88百万円の減価償却費の計上等の増加要因に相殺されたものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6億19百万円（前年同期は2億44百万円の支出）となりました。これは主に5億63百万円の有形固定資産の取得等の減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4億9百万円（前年同期は5億73百万円の支出）となりました。これは主に1億57百万円のリース債務の返済、1億53百万円の長期借入金の減少（純額）等の減少要因があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の業績見通しといたしまして、日本経済はオミクロン株の重症化リスクが小さいこともあり、個人消費を中心に回復基調が期待できますが、消費者物価の上昇による消費者マインドの悪化に加え、ウクライナ情勢の行方次第で、更なる資源価格の高騰や高止まりが見込まれ、景気下振れリスクの高まりは続くものと思われま

す。当社グループにおきましては、半導体市場が持続的な成長を続けており、今後もデジタルトランスフォーメーション（DX）により多くの産業領域で効率化に向けた取り組みが進むと予想され、データセンター向け半導体の需要は増加が見込まれます。また、自動運転の実現に向けて半導体搭載数が増加するなど、半導体需要の拡大が続き、半導体製造装置の需要も右肩上がりで増加すると期待されます。これらの影響を受け半導体製造装置用ポンプの受注も更に増加が見込まれます。

このような環境の中で、原材料や部材の安定調達に向けた取り組みを進める一方、原材料や資源価格高騰の影響は大きく、製品への価格転嫁をお願いするとともに、生産コストの削減に向けた取り組みを進めてまいります。

併せて、新たな分野で使用される製品開発を進めるとともに、引き続きユニット製品の市場拡大に注力し、顧客満足度の高いサービスを提供していくことに最善を尽くしてまいります。

以上のような取り組みにより、次期の売上高は172億円（前期比100.6%）、営業利益は9億70百万円（同120.3%）、経常利益は10億20百万円（同108.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億30百万円（同82.5%）を予想しております。

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる予想を前提としており、今後、様々な要因によって業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,922,802 | 2,534,271 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,955,953 | 4,106,986 |
| 電子記録債権 | 1,584,902 | 2,126,283 |
| 商品及び製品 | 673,191 | 627,120 |
| 仕掛品 | 675,252 | 1,147,496 |
| 原材料及び貯蔵品 | 248,861 | 350,801 |
| その他 | 221,293 | 272,170 |
| 貸倒引当金 | △1,000 | △1,000 |
| 流動資産合計 | 9,281,256 | 11,164,130 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,587,550 | 5,195,191 |
| 減価償却累計額 | △3,319,792 | △2,949,783 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,267,757 | 2,245,408 |
| 機械装置及び運搬具 | 4,310,548 | 3,548,869 |
| 減価償却累計額 | △3,718,476 | △2,954,147 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 592,072 | 594,722 |
| 工具、器具及び備品 | 4,085,172 | 3,714,223 |
| 減価償却累計額 | △3,709,828 | △3,343,310 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 375,343 | 370,912 |
| 土地 | 980,749 | 829,319 |
| リース資産 | 1,174,097 | 1,337,606 |
| 減価償却累計額 | △716,885 | △843,184 |
| リース資産(純額) | 457,212 | 494,422 |
| 建設仮勘定 | 178,196 | 105,478 |
| 有形固定資産合計 | 4,851,331 | 4,640,263 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 92,913 | 101,773 |
| 無形固定資産合計 | 92,913 | 101,773 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 940,110 | 1,149,696 |
| 繰延税金資産 | 377,383 | 358,446 |
| その他 | 209,967 | 265,282 |
| 貸倒引当金 | △3,300 | — |
| 投資その他の資産合計 | 1,524,161 | 1,773,425 |
| 固定資産合計 | 6,468,406 | 6,515,462 |
| 資産合計 | 15,749,663 | 17,679,592 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 771,623 | 1,100,188 |
| 電子記録債務 | 1,225,039 | 1,833,470 |
| 短期借入金 | 370,600 | 370,600 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 339,975 | 320,838 |
| 未払費用 | 414,447 | 493,609 |
| 未払法人税等 | 160,333 | 164,383 |
| その他 | 824,135 | 887,543 |
| 流動負債合計 | 4,106,154 | 5,170,633 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 620,915 | 486,743 |
| リース債務 | 367,578 | 376,798 |
| 繰延税金負債 | 45,109 | — |
| 退職給付に係る負債 | 1,215,865 | 1,240,653 |
| 負ののれん | 12,915 | 10,762 |
| その他 | 24,990 | 24,990 |
| 固定負債合計 | 2,287,374 | 2,139,947 |
| 負債合計 | 6,393,528 | 7,310,581 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 885,721 | 893,684 |
| 資本剰余金 | 1,840,018 | 1,847,981 |
| 利益剰余金 | 6,479,929 | 7,265,138 |
| 自己株式 | △79,064 | △79,134 |
| 株主資本合計 | 9,126,605 | 9,927,669 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 71,824 | 55,579 |
| 繰延ヘッジ損益 | 46,650 | 81,668 |
| 為替換算調整勘定 | 121,683 | 325,046 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △10,628 | △20,954 |
| その他の包括利益累計額合計 | 229,529 | 441,340 |
| 純資産合計 | 9,356,134 | 10,369,010 |
| 負債純資産合計 | 15,749,663 | 17,679,592 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 12,926,811 | 17,098,746 |
| 売上原価 | 10,281,149 | 13,915,725 |
| 売上総利益 | 2,645,661 | 3,183,020 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,260,609 | 2,376,540 |
| 営業利益 | 385,052 | 806,480 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,119 | 10,400 |
| 受取配当金 | 12,884 | 20,353 |
| 為替差益 | — | 46,305 |
| 投資有価証券評価益 | 23,978 | — |
| 投資有価証券売却益 | 2,796 | 2,351 |
| 負ののれん償却額 | 2,152 | 2,152 |
| 不動産賃貸料 | 16,201 | 37,955 |
| 助成金収入 | 140,081 | 27,708 |
| 売電収入 | 7,240 | 6,093 |
| その他 | 11,912 | 17,228 |
| 営業外収益合計 | 225,367 | 170,550 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,697 | 6,844 |
| 投資有価証券評価損 | — | 6,507 |
| 為替差損 | 3,342 | — |
| 不動産賃貸費用 | 10,265 | 18,776 |
| 売電費用 | 3,897 | 3,617 |
| その他 | 2,224 | 1,698 |
| 営業外費用合計 | 26,426 | 37,444 |
| 経常利益 | 583,992 | 939,586 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 125,132 |
| 投資有価証券売却益 | 93,219 | — |
| 特別利益合計 | 93,219 | 125,132 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 641 | — |
| 固定資産除却損 | 4,872 | 5,659 |
| 投資有価証券評価損 | — | 2,243 |
| 事業構造改革費用 | 109,684 | — |
| 特別損失合計 | 115,198 | 7,902 |
| 税金等調整前当期純利益 | 562,013 | 1,056,815 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 205,806 | 201,008 |
| 法人税等調整額 | △46,143 | △28,511 |
| 法人税等合計 | 159,663 | 172,497 |
| 当期純利益 | 402,350 | 884,318 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 402,350 | 884,318 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 402,350 | 884,318 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 113,221 | △16,244 |
| 繰延ヘッジ損益 | 60,258 | 35,018 |
| 為替換算調整勘定 | 19,348 | 203,363 |
| 退職給付に係る調整額 | 13,649 | △10,325 |
| その他の包括利益合計 | 206,477 | 211,811 |
| 包括利益 | 608,827 | 1,096,130 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 608,827 | 1,096,130 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 878,679 | 1,832,976 | 6,176,331 | △79,064 | 8,808,923 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 878,679 | 1,832,976 | 6,176,331 | △79,064 | 8,808,923 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 7,041 | 7,041 | | | 14,083 |
| 剰余金の配当 | | | △98,751 | | △98,751 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 402,350 | | 402,350 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 7,041 | 7,041 | 303,598 | — | 317,681 |
| 当期末残高 | 885,721 | 1,840,018 | 6,479,929 | △79,064 | 9,126,605 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|---------|----------|------------------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | |
| 当期首残高 | △41,397 | △13,607 | 102,334 | △24,278 | 23,051 | 8,831,975 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | △41,397 | △13,607 | 102,334 | △24,278 | 23,051 | 8,831,975 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | 14,083 |
| 剰余金の配当 | | | | | | △98,751 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 402,350 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 113,221 | 60,258 | 19,348 | 13,649 | 206,477 | 206,477 |
| 当期変動額合計 | 113,221 | 60,258 | 19,348 | 13,649 | 206,477 | 524,159 |
| 当期末残高 | 71,824 | 46,650 | 121,683 | △10,628 | 229,529 | 9,356,134 |

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 885,721 | 1,840,018 | 6,479,929 | △79,064 | 9,126,605 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 0 | | 0 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 885,721 | 1,840,018 | 6,479,929 | △79,064 | 9,126,605 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 7,963 | 7,963 | | | 15,926 |
| 剰余金の配当 | | | △99,110 | | △99,110 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 884,318 | | 884,318 |
| 自己株式の取得 | | | | △70 | △70 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | 7,963 | 7,963 | 785,208 | △70 | 801,064 |
| 当期末残高 | 893,684 | 1,847,981 | 7,265,138 | △79,134 | 9,927,669 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 71,824 | 46,650 | 121,683 | △10,628 | 229,529 | 9,356,134 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | 0 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 71,824 | 46,650 | 121,683 | △10,628 | 229,529 | 9,356,134 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | 15,926 |
| 剰余金の配当 | | | | | | △99,110 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 884,318 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △70 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △16,244 | 35,018 | 203,363 | △10,325 | 211,811 | 211,811 |
| 当期変動額合計 | △16,244 | 35,018 | 203,363 | △10,325 | 211,811 | 1,012,875 |
| 当期末残高 | 55,579 | 81,668 | 325,046 | △20,954 | 441,340 | 10,369,010 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 562,013 | 1,056,815 |
| 減価償却費 | 790,839 | 788,082 |
| 事業構造改革費用 | 36,181 | — |
| 負ののれん償却額 | △2,152 | △2,152 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 27,212 | 10,615 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | — | △3,300 |
| 受取利息及び受取配当金 | △21,003 | △30,753 |
| 支払利息 | 6,697 | 6,844 |
| 為替差損益 (△は益) | △3,061 | △48,821 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 641 | △125,132 |
| 固定資産除却損 | 4,872 | 5,659 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △96,015 | △2,351 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | △23,978 | 8,750 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 167,614 | △1,573,339 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △128,591 | △469,368 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 15,218 | 869,107 |
| その他 | △15,688 | 256,567 |
| 小計 | 1,320,799 | 747,222 |
| 利息及び配当金の受取額 | 20,951 | 30,046 |
| 利息の支払額 | △6,711 | △6,788 |
| 法人税等の支払額 | △95,915 | △200,219 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,239,124 | 570,261 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △482,201 | △563,674 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 164 | 227,675 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17,766 | △29,859 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △265,391 | △350,813 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 526,962 | 101,200 |
| その他 | △6,095 | △3,636 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △244,328 | △619,108 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 530,000 | 200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △872,588 | △353,309 |
| 自己株式の増減額 (△は増加) | — | △70 |
| 配当金の支払額 | △98,654 | △99,010 |
| リース債務の返済による支出 | △132,017 | △157,281 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △573,260 | △409,671 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6,179 | 69,987 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 427,714 | △388,531 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,495,087 | 2,922,802 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,922,802 | 2,534,271 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月11日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による、当連結会計年度の損益および期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、現在も継続しており、現時点では当該影響を予測することは困難であると判断しておりますが、今後重要な影響はないとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)および当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは、モータおよびポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,076.83円 | 2,293.65円 |
| 1株当たり当期純利益 | 89.41円 | 195.82円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 402,350 | 884,318 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 402,350 | 884,318 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 4,499 | 4,515 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。